

北海道在宅医療 推進フォーラム

2011

合同開催 第16回連絡会の連絡会シンポジウム

特別講演 司会 向谷地 生良〈べてるの家理事・北海道医療大学教授〉



『認知症を生きる』

～東大の医者がアルツハイマー病となって～
～「過去と決別 人生これから」と語る若井夫妻の世界～

若井 晋 氏 (元・東京大学教授)

1972年東大医学部を卒業。キリスト教NGOの医師として台湾で医療奉仕。米国国立衛生研究所研究員、独協医大脳神経外科教授を経て、99年東大大学院国際地域保健学教授。開発途上国を飛び回っていた54歳のとき、自分の名前が書けなくなり、2006年若年性アルツハイマー病と診断。苦しみと迷いを経て、同年東大を早期退職。「07年北海道で同じ病気で本を出したクリスティーン・ボーデンの講演を聞き、病名を公表する勇気もらった。夫の元気な姿が病む人に励ましを与え、一般の人には病気理解の一助となれば」と克子夫人は語る。

フリートーク:『認知症にどう寄り添うか』 司会 堀元 進〈旭町医院〉

医師、看護師、ケアマネジャー、グループホーム職員などが、認知症にどう寄り添うか、をテーマにして、ご参加の皆さまと一緒に語り合ってください。

日 時

2011年11月3日 [木曜日] 開場 12:30 開演 13:30 (~16:00)
文化の日

場 所

札幌市医師会館
〈札幌市中央区大通西19丁目〉

定 員

500名 参加費無料・事前申込不要

主催：北海道在宅医療推進フォーラム2011 実行委員会 一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会

共催：北海道訪問看護ステーション連絡協議会 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

後援：厚生労働省北海道厚生局 北海道 札幌市 北海道医師会 札幌市医師会 北海道看護協会

<問い合わせ>北海道在宅医療推進フォーラム2011 実行委員会 事務局 TEL/FAX:011-299-2967